



第88期 報告書

2022年1月1日～2022年12月31日

 鳥越製粉株式会社

証券コード：2009

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第88期（2022年1月1日から2022年12月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。

2023年3月30日

代表取締役会長兼社長 鳥越 徹



営業の概況

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響はあったものの、行動制限の緩和に伴う経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに持ち直しております。しかしながらロシア・ウクライナ情勢の長期化、為替相場の円安により資源を始め輸入品の価格は高騰しており、今後の景気後退が懸念されるなど、先行きは依然不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましては、原材料価格や物流コ

ストの上昇を反映した食料品価格の値上げの動きが強まる中、消費者の節約志向は一段と高まっており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況にあって当社グループは、中期経営計画「TTC150 Stage2」に基づき、将来の持続的成長に向けた諸施策に取り組みました。当社グループの精麦・飼料事業について、当社の完全子会社として鳥越精麦株式会社を設立し、同社に対して会社分割の方法により、当社の精麦・飼料

事業を承継しました。その上で当社グループにおける精麦・飼料事業を営む連結子会社4社が実施する共同株式移転の方法により、精麦・飼料事業を統括する中間持株会社である鳥越グレインホールディングス株式会社を設立しました。これにより当社グループの精麦・飼料事業における意思決定の迅速化と経営資源の効率的配分を行い、各社横断的な連携により更に競争力を強化し、当社グループ全体の企業価値向上を目指してまいります。また「デジタル化による全社的業務改革の推進」につきましては、まずデジタル受注システムを中心として、営業部門のバックオフィス業務のデジタル化に着手しました。

当連結会計年度の当社グループの売上高は244億3百万円（前年同期比7.5%増）と過去最高になりました。収益面につきましては、営業利益は12億3千2百万円（前年同期比27.7%増）、経常利益は14億9千6百万円（前年同期比25.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は9億3千1百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

物価上昇により消費者の節約志向が強まる中、販売競争は激しさを増しており今後も厳しい経営環境が続くものと思われます。当社グループとい

たしましては、食品の安定供給という社会的使命を果たすとともに、今年は中期経営計画「TTC150 Stage2」の最終年度であり、厳しい経営環境下でも持続的成長を可能とするための改革の実現に向けてグループ役職員一丸となって取り組んでまいります。

また顧客本位の事業活動を通じて、地域社会、日本、そして世界の人々の生活文化の向上に貢献し、「世の中になくてはならない企業」の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

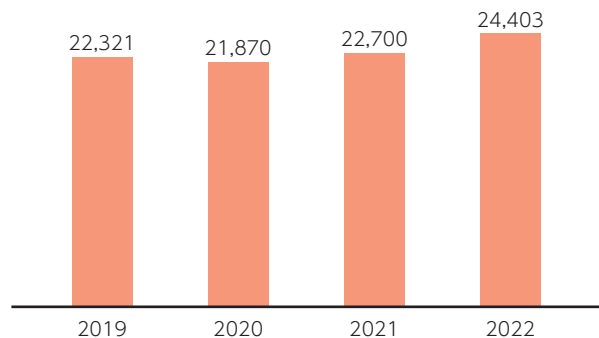
業績ハイライト (連結)

売上高

24,403百万円
前期比7.5%増



(単位：百万円)

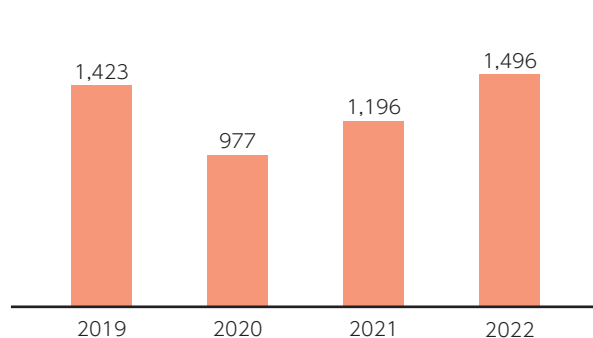


経常利益

1,496百万円
前期比25.1%増



(単位：百万円)

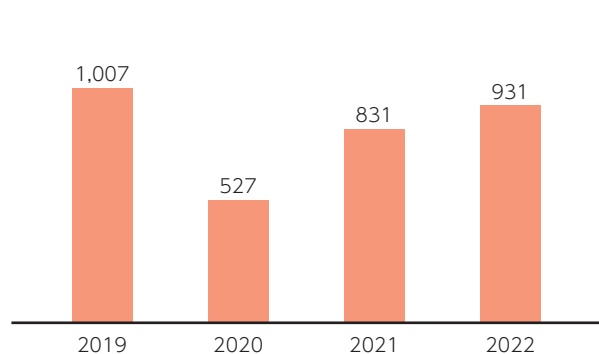


親会社株主に帰属する当期純利益

931百万円
前期比12.0%増



(単位：百万円)

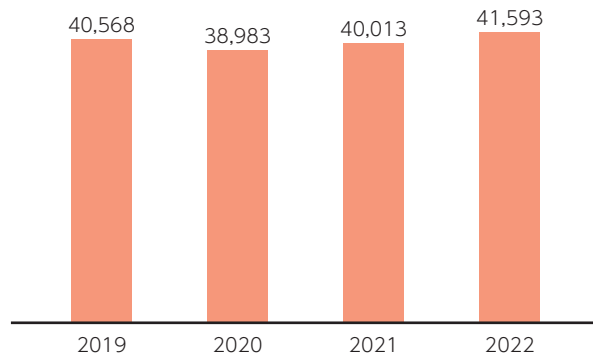


総資産

41,593百万円
前期比3.9%増



(単位：百万円)



各事業の概況

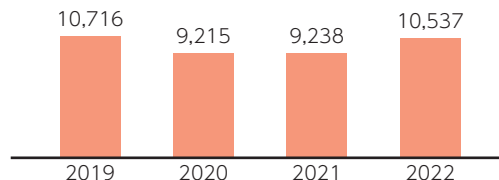
食料品事業

売上高 **22,817**百万円 前期比6.5%増 ↑

製粉

製粉部門につきましては、業務用小麦粉の出荷数量は減少しましたが、輸入小麦の政府売渡価格引き上げに伴う製品価格の値上げや副産物のふすま販売価格が堅調に推移したことなどにより、売上高は105億3千7百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

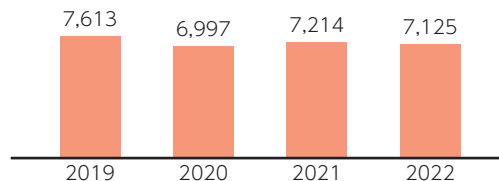
(単位：百万円)



食品

食品部門につきましては、ミックス製品の出荷数量が減少したことなどにより、売上高は71億2千5百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

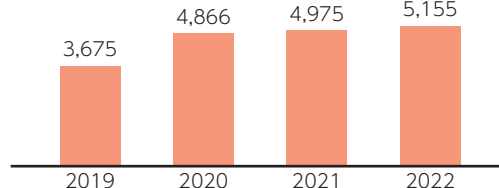
(単位：百万円)



精麦

精麦部門につきましては、出荷数量は減少しましたが、販売価格の上昇などにより、売上高は51億5千5百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

(単位：百万円)



飼料事業

売上高

1,540百万円

前期比26.4%増 ↑

飼料事業につきましては、出荷数量はほぼ前年並みで推移しましたが、原料価格の高騰に伴う製品価格の値上げを実施した結果、売上高は15億4千万円（前年同期比26.4%増）となりました。

その他事業

売上高

44百万円

前期比16.7%減 ↓

その他事業につきましては、受取保管料の減少などにより、売上高は4千4百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

トピックス

この1年のイベント

FABEX東京2022

2022年4月13日～15日に東京ビッグサイトで開催された「FABEX東京2022」に出展しました。中食・外食など総菜向け業務用専門展で、3日間で約4万人の方が来場されました。

当社ブースでは、「健康と食品ロス対策」をコンセプトとして、品質改良剤、日持向上剤（イノバイトシリーズ）、雑穀製品を主体に展示を行い、お立ち寄りいただいたたくさんの方々に、試食品をご提供しながら商品のご紹介を行いました。



オンライン技術開発展

2022年7月19日～8月25日まで、オンラインイベント「2022年オンライン技術開発展」を開催し、たくさんの方々にご視聴いただきました。

食品業界全般に向けて、キーワードに沿って課題解決動画を選択していただくオーダーメイド感覚の新しい取り組みを行いました。併せて日本経済新聞社編集長兼論説委員の中村直文氏に「コロナ、ウクライナ侵攻・・・激動期の消費ビジネスの行方」をテーマにご講演いただいたセミナー動画を公開しました。



この1年のイベント

ドイツフェスティバル2022

2022年10月7日～10日に横浜赤レンガ倉庫で「ドイツフェスティバル2022」が開催され、当社が事務局を務める「ドイツパン研究会」のブースに会員各社が出店し、ドイツパンの販売を行いました。

今回は、コロナウイルスの影響で延期された2021年の日独交流160周年をテーマとし、両国の交流がスタートした横浜で開催され、3日間で3万人を超える方が来場されました。



地域社会への貢献活動

ラグビーチーム「LeRIRO（ルリーロ）福岡」を応援しています

当社は、地域社会の活性化や地域経済に貢献する取り組みの一環として、当社創業の地、福岡県うきは市に2022年春に新しく誕生したプロラグビーチーム「LeRIRO（ルリーロ）福岡」のオフィシャルパートナーとなりました。

「ルリーロ福岡」は地域と連携して活動する地域密着型のチームで、将来的には国内最高峰のラグビーリーグ「リーグワン」への参入をめざしています。



連結財務情報

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 2022年12月31日現在	前 期 2021年12月31日現在
資産の部		
流動資産	21,709	21,363
固定資産	19,883	18,650
有形固定資産	10,066	10,202
無形固定資産	236	243
投資その他の資産	9,580	8,204
資産合計	41,593	40,013
負債の部		
流動負債	4,019	3,950
固定負債	4,029	4,154
負債合計	8,049	8,104
純資産の部		
株主資本	28,249	27,643
資本金	2,805	2,805
資本剰余金	2,766	2,811
利益剰余金	24,758	24,152
自己株式	△ 2,081	△ 2,125
その他の包括利益累計額	5,268	4,238
非支配株主持分	25	26
純資産合計	33,543	31,908
負債純資産合計	41,593	40,013

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 2022年1月1日から 2022年12月31日まで	前 期 2021年1月1日から 2021年12月31日まで
売上高	24,403	22,700
売上原価	19,493	17,965
売上総利益	4,910	4,734
販売費及び一般管理費	3,677	3,769
営業利益	1,232	964
営業外収益	286	256
営業外費用	22	24
経常利益	1,496	1,196
特別利益	7	19
特別損失	104	4
税金等調整前当期純利益	1,400	1,212
法人税等合計	468	383
非支配株主に帰属する 当期純利益 (△は損失)	△ 0	△ 2
親会社株主に帰属する当期純利益	931	831

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 2022年1月1日から 2022年12月31日まで	前 期 2021年1月1日から 2021年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 47	1,776
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 452	△ 548
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 896	511
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,396	1,740
現金及び現金同等物の期首残高	12,079	10,338
現金及び現金同等物の期末残高	10,683	12,079

個別財務情報

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

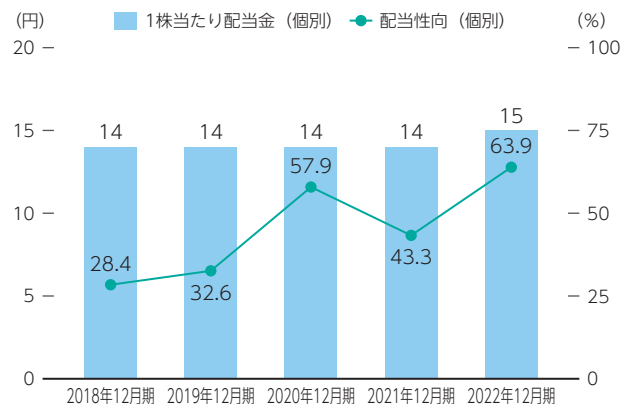
科 目	当 期 2022年12月31日現在	前 期 2021年12月31日現在
資産の部		
流動資産	17,795	19,205
固定資産	20,899	19,690
有形固定資産	7,753	7,985
無形固定資産	30	20
投資その他の資産	13,115	11,683
資産合計	38,694	38,895
負債の部		
流動負債	3,161	3,360
固定負債	3,719	3,842
負債合計	6,880	7,202
純資産の部		
株主資本	26,545	27,454
資本金	2,805	2,805
資本剰余金	1,608	2,782
利益剰余金	24,213	23,992
自己株式	△ 2,081	△ 2,125
評価・換算差額等	5,268	4,238
純資産合計	31,813	31,693
負債純資産合計	38,694	38,895

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 2022年 1月 1 日から 2022年12月31日まで	前 期 2021年 1月 1 日から 2021年12月31日まで
売上高	16,807	18,247
売上原価	13,281	14,266
売上総利益	3,525	3,980
販売費及び一般管理費	2,904	3,146
営業利益	621	834
営業外収益	311	256
営業外費用	41	22
経常利益	890	1,068
特別利益	0	18
特別損失	95	4
税引前当期純利益	795	1,082
法人税等合計	248	329
当期純利益	546	753

● 配当の推移・配当性向 (個別ベース)



(注) 2022年12月期の1株当たり配当金は鳥越グレインホールディングス株式会社設立記念配当1円を含んでおります。

株式の状況 (2022年12月31日現在)

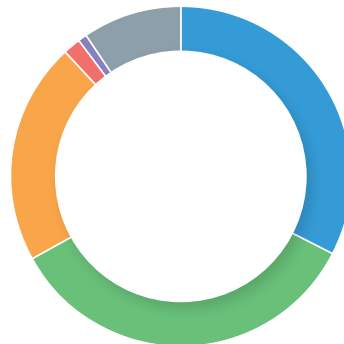
発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	26,036,374株
株主数	14,399名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)
有限会社鳥越商店	1,420
三井物産株式会社	1,300
株式会社福岡銀行	1,162
株式会社三菱UFJ銀行	1,145
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,000
株式会社広島銀行	730
株式会社佐賀銀行	630
損害保険ジャパン株式会社	567
三井住友信託銀行株式会社	550
第一生命保険株式会社	506

(注) 上記のほか当社所有の自己株式2,413千株があります。

株式の所有者別分布



個人・その他	32.6%
金融機関	34.5%
その他国内法人	21.1%
外国人	1.7%
証券会社	0.8%
自己名義株式	9.3%



株主優待のご案内

優待内容

当社の小麦粉を使用した特製「そうめん」 1箱

対象となる株主様

毎年12月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された500株 (5单元) 以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

贈呈の時期

毎年4月中に発送の予定です。

会社の概要

■ 会社の概要 (2022年12月31日現在)

創業年月日	1877年10月15日
設立年月日	1935年12月24日
資本金	2,805,266千円
主な営業品目	小麦粉、ライ麦粉、ふすま、プレミックス、 製パン・製菓用原材料、品質改良剤、 日持向上剤、食品素材、雑穀加工品、 大麦粉、もち麦（食用）など
従業員	238名
技術提携等	アメリカのドーン・フーズ社のグループ会社と技術提携、 ドイツのCSM社（ウルマ・シュパッツ）および そのグループ会社と業務および技術提携、 豊通食料株式会社と継続的売買契約、 アメリカのファイバースター社と業務提携

■ 取締役および監査役 (2023年3月30日現在)

代表取締役会長兼社長	鳥越徹
取締役副会長	高峰和宏
取締役常務執行役員	中川龍二三
取締役	倉富純男
取締役	酒見俊夫
監査役（常勤）	渋田隆伸
監査役（常勤）	丸山明
監査役	岡崎信介
監査役	中島貴

- (注) 1. 取締役 倉富純男および同 酒見俊夫の2名は、社外取締役であります。
2. 監査役 岡崎信介および同 中島貴の2名は、社外監査役であります。
3. 取締役 倉富純男および同 酒見俊夫ならびに監査役 岡崎信介および同 中島貴を東京証券取引所および福岡証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両証券取引所に届け出ております。

■ 事業所一覧 (2023年3月30日現在)

本店	福岡県うきは市吉井町276番地の1
本社	福岡市博多区比恵町5番1号
東京事務所	東京都墨田区亀沢4丁目17番12号
第1営業部	
仙台営業所	仙台市宮城野区榴岡5丁目1番23号
東京営業所	東京都墨田区亀沢4丁目17番12号
大阪営業所	大阪府泉佐野市住吉町27番地の1
広島営業所	広島県安芸郡坂町植田1丁目5番1号
福岡営業所	福岡市博多区比恵町5番1号
第2営業部	東京都墨田区亀沢4丁目17番12号
第3営業部	東京都墨田区亀沢4丁目17番12号
東京工場	(ミックス工場) 千葉県船橋市高瀬町21番8号
静岡工場	(製粉(小麦粉・ライ麦粉)、加工食品工場) 静岡県焼津市飯淵1431番地の1
大阪工場	(ミックス工場) 大阪府泉佐野市住吉町27番地の1
広島工場	(製粉工場) 広島県安芸郡坂町植田1丁目5番1号
福岡工場	(製粉工場) 福岡市東区箱崎ふ頭6丁目8番8号 (ライ麦工場) 福岡県うきは市吉井町276番地の1

■ 連結子会社 (2023年3月30日現在)

鳥越グレインホールディングス株式会社
鳥越精麦株式会社
石橋工業株式会社
中島精麦工業株式会社
株式会社カネニ
株式会社大田ベーカリー
久留米製麺株式会社

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	毎年12月31日
定時株主総会・期末配当	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
公告掲載のホームページアドレス	http://www.the-torigoe.co.jp/

お知らせ

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

THE TORIGOE CO., LTD.